

カンロ“「ピュレグミ」で新需要を創出”をテーマに 第52回「食品産業技術功労賞」を受賞

カンロ飴やピュレグミなどでおなじみのカンロ株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 三須 和泰、以下カンロ）は、“「ピュレグミ」で新需要を創出”をテーマに第52回食品産業技術功労賞(マーケティング部門)を受賞したことをご報告いたします。



《グミ市場活性化に貢献！食品産業技術功労賞を受賞》

『ピュレグミ』は、2002年の発売以来、幅広い世代の方からご支持いただいているカンロの人気商品で、今年で発売20周年を迎えました。フルーツのおいしさを引き出す“すっぱいパウダー”と独自の“果肉食感”により、噛むほどにフルーティーな甘ずっぱいおいしさが広がり、食べた瞬間こころが晴れるように、ちょっとハート（気持ち）があがるハート型のグミです。

ピュレグミを発売した2002年以前のグミ市場は、子ども向けの商品が中心で市場の成長に課題がありました。そうした背景の中でグミ市場の拡大を目指し、大人の女性をターゲットとしてピュレグミを発売しました。新たなユーザーを獲得したことで発売開始から20年間でブランド累計10億袋以上販売するなど、グミ市場拡大を牽引してきました。

この度、国内グミ市場の長期的な活性化に貢献したことが評価され、食品産業新聞社が制定する第52回食品産業技術功労賞マーケティング部門を“「ピュレグミ」で新需要を創出”というテーマで受賞いたしました。

今後もより一層、グミ市場の活性化に貢献できるようにブランド展開してまいります。

＜食品産業技術功労賞とは＞

「食品産業技術功労賞」は、日本の食品産業の発展に著しく貢献した企業、または個人、団体を顕彰する、食品業界の歴史あるアワードです。食品産業新聞社の創立20周年を記念して1971年に制定し、今回で52回となります。公的立場にある選考委員が、各部門の功労賞を選定。毎年1回表彰しています。

<カンロ展開ブランド>



■会社概要

社名 : カンロ株式会社
代表 : 代表取締役社長 三須和泰
所在地 : 東京都新宿区西新宿 3 丁目 20 番 2 号 東京オペラシティビル 37 階
創業 : 1912 年(大正元年)11 月 10 日
事業内容 : 菓子、食品の製造および販売
URL : コーポレートサイト <https://www.kanro.co.jp/>
KanroPOCKeT <https://kanro.jp/>

当社は創業から百余年、社名になっている「カンロ飴」を始め、ミルクフレーバーキャンディ市場売上 No.1 ブランド※「金のミルク」、菓子食品業界で初ののど飴となる「健康のど飴」、大人の女性に向けたグミ市場を創り上げた「ピュレグミ」など、常に消費者の皆様から愛され続ける商品を創り続けてまいりました。2012 年からは直営店「ヒトツブカンロ」を運営し、「ヒトからヒトへ つながる ヒトツブ」をコンセプトにキャンディの魅力を発信しています。

※株式会社インテージ S R I + ミルクフレーバーキャンディ市場
2021 年 4 月～2022 年 3 月累計販売金額ブランドランキング

■パーパス「Sweeten the Future ～心がひとつぶ、大きくなる。～」



カンロは、2022 年、企業パーパス「Sweeten the Future ～心がひとつぶ、大きくなる。～」を定めました。変化が激しく、先行きが不透明・不確実な時代の中、カンロがこれまで歩んできた道程を確認の上、自分たちの未来への想いを言語化したものです。糖から未来をつくり、糖の力を引き出す事に挑み続けてきたカンロが企業活動の中で培った技術をさらに進化させることで、「心がひとつぶ、大きくなる」瞬間を積み重ねて人と社会の持続可能な未来に貢献してまいります。